

令和5年5月25日 東二よつばの会 議事録

日 時：令和5年5月25日（木）

午前10時～午前11時10分

場 所：畑中公民館 1階 講義室

参加者：12名（司会：新田SC 書記：山田SC）

【内容・決定事項】

自己紹介（初参加者）

東部第二高齢者相談センター：鈴木氏、金札氏、住江氏

福祉政策課：齊藤主査 大西事務員

1 協議内容

○ 令和5年3月27日開催の第1層協議体の報告

東二でラジオ体操後の活動で、パタンクを行いたいという意見を述べ、結果として、福祉政策課でパタンクとボッチャの購入に至った。現在、福祉政策課から団体への貸出が可能となり、ラジオ体操後に活用中である。

○ ラジオ体操後のパタンクやボッチャについて

5月第4週のラジオ体操参加者：馬場10名、畑中25名

馬場地区は、パタンクのルールを理解している方の指導のもと、ラジオ体操後にパタンクをゲーム形式で実施している。畑中地区は、初めて試技を実施したので、次回はゲーム形式を予定している。パタンクは、ルールも簡単であり誰でもできるため、参加した方は楽しんでいる様子である。

○ 協議体と福進協の統合について

福祉政策課から、「第4次新座市地域福祉計画・新座市社会福祉協議会地域福祉活動計画」の概要の説明を行った。5年間の計画であるが、今すぐ統合ということではなく事務局でモデルプランを作成し、協議体と福進協が協議を進めながら統合を目標に進めていくという旨を伝えた。みんなが納得し、気持ちよく地域福祉を進めていけるように正しく住民に情報発信していくことを話した。

（以下住民・コアメンバー意見）

・東二では協議体と福進協は同じような活動をしているように感じる。以前から一緒になればいいと思っていたので、統合には賛成である。

・福進協はイベントや街歩きを通してネットワークを作っているが、協議体は生活上の小さな困りごとを地域住民で話し合い、それを解決する方法を協議するためにある。統合で協議体の良さが失われないようにしないといけない。福進協は予算があり、実行できる場という

イメージがあると思う。

・東二協議体は困りごとについて話し合い、意見が出て解決に向かって進まない状況であった。協議体のメンバーから、できることからやっていきたいという意見があり、コロナ禍でもできるラジオ体操を行った経緯がある。

・コロナ前は、福進協の水曜会に栄地区の住民がたくさん参加していたが、栄地区以外の住民は遠いため、水曜会への参加をおすすめできなかった。現在、水曜会ではラジオ体操を開催していて、栄地区の住民が参加している。協議体の開催で、馬場と畑中地区でラジオ体操が実施されるようになって良かったと感じる。

・市役所、社協は地域福祉のことを住民に任せ気味なので、もっと関わってほしい。

2 その他

○ サンライズサーカスの紹介

サンライズサーカスについて、パンフレットを渡し、簡単な説明を行った。参加者のみなさんがその存在を知っていて、興味をもっていたので、次回は他圏域のSCが視察をした際の資料を用意して詳しい説明を行うことにした。

次回開催日程

日時:令和5年7月27日(木)10:00~11:00

場所:畑中公民館 1階 講義室